第４学年国語科学習指導案

１　単元名　　愛の心をえがいた物語を読もう　－世界一美しいぼくの村、一つの花－
２　本時のねらい
「世界一美しいぼくの村」で学習した内容や方法を生かして、「一つの花」でえがかれている父親の気持ちを考え、その考えを友達との交流を通して深めることができる。
３　準備物
【教師】　「世界一美しいぼくの村」の学習をまとめた掲示物、センテンスカード
【児童】　ワークシート
４　展　開

学習活動・内容（時間：分）	教師の働きかけと評価（評価方法）
１　「世界一美しいぼくの村」と「一つの花」の似ている点・違う点について確認する。（３）	○　「世界一美しいぼくの村」で学習した内容を常に振り返ることができるようにするために学習の跡を掲示する。 ○　似ている点の中から、家族愛を取り上げ、「一つの花」は、父からゆみ子への愛の心が強く描かれていることに気付かせる。
２　父からゆみ子への愛の心がどこに描かれているか発表する。（15） ・ゆみ子の将来を心配する父 ・ゆみ子に「一つの花」を渡す父 ・一つの花を見つめながら、何も言わずに行ってしまう父	○　父からゆみ子への愛の心に着目させるために、一人学びで赤色のサイドラインを引いている叙述やそこから読み取れる父の気持ちについて発表させる。 ㊟　父親のゆみ子に対する愛の心が描かれている所を積極的に発表している。（行動観察）
一つの花を見つめながら何も言わずに汽車に乗って行く父の気持ちを考えよう。	
３　何も言わずに汽車に乗って行く父親の気持ちを話し合う。（20） ・最後に笑顔が見られてよかった ・元気に幸せに育ってほしい ・平和な世の中になるといいなあ ・ずっとゆみ子の成長を見ていたいのに	○　叙述に即して考えることを意識させるために、４場面の音読をさせる。 ○　「世界一美しいぼくの村」で「バハール」という名前に込められた思いを話し合った時の学習を想起させ、親子の置かれている状況や、父親の心配など、いろいろな面から考えてみるよう助言する。 ○　グループの中で、どの児童も発言できるようにするために自分の考えをワークシートに書かせる。 ○　父親の気持ちを読み深めさせるために、それぞれの班から出た意見を全体で交流させる。 ㊟　父親の思いについて自分の意見を述べたり、自分の意見と比べながら友達の意見を聞いたりしている。（ワークシート・発言）
４　ヤモから兄、父からゆみ子への気持ちを比べて感じたことを書く。（５）	○　二つの作品の家族愛について考えを深めさせるために、ワークシートに自分の思いを書かせ、いくつか紹介する。
５　次時の活動について知る。（２）	○　次時は、グループで課題を決めて読書会を行うことを知らせる。